



第1分科会  
小学校情報活用能力  
取組概要

①小学校 1・2年生（国語・算数等）

低学年用ルーブリックで自己評価を行いながら、教科でICTの基本操作を習得・活用。

②小学校 2年生（生活）

児童向けルーブリック「わざカード」を用いて、目指すべき情報活用能力を可視化。

③小学校 4年生（国語・社会・総合）

簡易版「ICTスキル表」を活用し、資料作成の構成をスモールステップで指導。

# ①低学年児童のICT基本操作を中心とした情報活用能力の育成

## 小学校情報活用能力

## 小学校1・2年（複式学級）

### 取組の内容

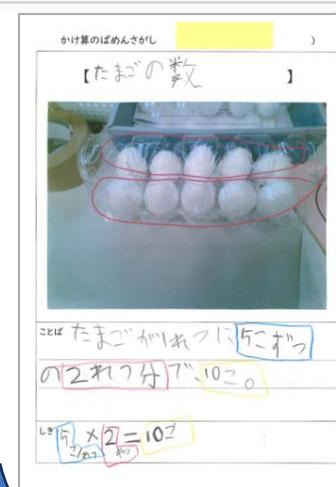
#### ①【生活科の授業でICT基本操作の学習】3時間程度

- ・電源の入れ方、ログイン、終了の仕方
- ・クラスルームへの入り方、ストリームの見方・送り方
- ・カメラで撮影
- ・撮影した写真へのかき込み、ドライブへの保存 など



#### ②【国語科、算数科、図画工作科などの授業でのICT活用】

- ・国語科2年「みのまわりのものを読もう」
- ・算数科1年「10よりおおきいかず」「かたちあそび」「たしざん」  
2年「長方形と正方形」「かけ算」
- ・図画工作科1・2年「はこあそび」
- ・画像を検索し、見ながら絵を描く。など



〔基本の流れ〕  
撮影→書きこみ→発表

#### ③【低学年にも読めるようにまとめたルーブリックシートで自己評価】

- ・ルーブリックシートの自分ができると思うものに黒丸をする。
- ・実際にできるかやってみて、本当にできたものに赤丸をする。

★クロームブック活用スキルチェック表		名前( )	
1	クロームブックをひらいてログイン、また、おわる事ができる。		
2	音声で文字を入力することができる。	ローマ字ひょうを見ながら、ローマ字入力ができる。	ローマ字ひょうを見ずに、ローマ字入力ができる。
3	マウスそりさや画面のそりさができる。(うごかす・クリック・かく大など)	マウスそりさやがめんそりさができる。	
4	カメラでしゃしんやどうがをとることができる。	カメラでとったしゃしんやどうがをかくにんすることができる。	カメラでとったしゃしんに、文字などをかきこむことができる。
		カメラでとったしゃしんやどうがを、けすことができる。	しゃしんやがぞうをかこう(トリミングしたり、明るさをかえたり)することができる。
		カメラでとったしゃしんやどうがをひつようなファイル(ドライブなど)にほぞんすることができる。	
5	クラスルームに入ることができる。	クラスルームに入って、先生やともだちからのおしらせ(ストリーム)を見ることができる。	クラスルームに入って、先生やともだちからのおしらせ(ストリーム)を見たことをつたえることができる。
			クラスルームに入って、ストリームにしゃしんなどをおくることができる。
6	インターネットでひつようながぞうやどうがをしらべることができる。	インターネットでしらべたがぞうやどうがをコピーしてはりつけたり、ほぞんしたりすることができる。	
7	eライブラリーでペンきょううすることができる。		
8	おえかきアプリで絵をかくことができる。		
9	ドキュメントで文しょうを入力することができる。	文字の大きさやフォントをかえることができる。	
10	スライドにがぞうや文字を入力することができる。	がぞうや文字の大きさやばしょをかえて、分かりやすくすることができる。	アニメーションやサウンドなどをつけて、こうかきなスライドをつくることができる。
11	じょうほうモラルやマナーに気をつけて、自分の考えを入力することができる。	じょうほうモラル(ことばづかいやこじんじょうほうのとりあつかいなど)をまもり、書きこむことができる。	

### 成果と課題

- 初めは分からなくても、同じような活動を何回か取り入れることで、こども同士で教え合うようになってきた。
- 絵を描くことが苦手なこどもも、写真を撮ったり、描きたい絵に近いものを検索して見ながら描いたりするなど、ICTを活用することで、前向きに活動に取り組めた。
- ルーブリックシートで自己評価をすることで、実際に自分がどれくらいできるのかがこどもたちにも分かり、さらに、教師も、こどもたちのどの能力をもっと高めていく必要があるのかがよく分かった。
- △どんな時にICTを使うとよいか、見通しをもって事前に計画しておく必要があった。
- △作成したルーブリックシートが、情報活用能力一覧表の項目を網羅できていないので、改善が必要。

取組の内容：情報収集やまとめ・表現の場でルーブリックを使い必要な力を共有することで、主体的に技能を獲得できるようにする。

使用題材：生活科「せかいでひとつわたしだけのおもちや」

単元の流れ

○おもちやをつくろう！

- 1 **どんなおもちやを作るか決める**
- 2 作りたいおもちやの設計図をかく
- 3 おもちやを作る
- 4 おもちやをパワーアップさせる

○おもちやランドをひらこう！

- 5 **あそびかたの説明を考える**
- 6 進め方を考え、リハーサルをする
- 7 おもちやランドを開く
- 8 活動のふりかえりをする

ルーブリックを共有し、どのわざが使えそうか、自分はどのレベルを目指すか目標を各自で設定し、時間ごとに振り返ることにした。

成果

- ・苦手な子も自分の決めた目標に向かって前向きに取り組むことができた。
- ・身に着ける力や目標が具体的に見えることで支援やこども同士での教え合いがしやすくなった。

課題

- ・ファイルの提出や情報検索など、スムーズに端末操作ができるようになるまで時間と細かな指導が必要。
- ・技能の個人差がでてしまう。

ちようさの名入

わざ	☆☆	☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆☆
インタビュー	ききたいことをあいてにきくことができる。	あいての話をきいて、メモをとることができる。	きいたことをりかいて、さらにつづけてしつもんをすることができる。	れいびきまで、よめていきたり、疑問をききだすことができる。
メモをとる	日時、ばしょ、あいてのことなど、きかなくてはいけないことをきくことができる。	あいての話をそのままかきとる。あいての話をきくことができる。	あいてのことばやけいしふつからひつようなことをぬきだして書くことができる。	あいてが言ったことを、かたんにまとめる。たいせつな言葉がわかる。
アンケートをとる	ききたいことをいふことができる。	アンケート用紙をつくること	こたえむとがわかりやすいようにアンケートをつくること	アンケートについてきつめいたり、おれいもいったりすることができる。
しゃしんをとる	あんぜんやしように写真を撮ってきかすことができる。	とりたいものときよりやうつが、顔や名前をかくことができる。	しゃしんにうつる人のことをきく。	かろうりゆうをきいて、きかすことができる。
図解図でしるべ	ほしい本があるなほしよをさがすことができる。	図解図をうまく使って、本をさがすことができる。	ひつようなじようほうをつつしよ、しゃしんにあてあてて見かえれるようになることができる。	
インターネットでしるべ	ブラウザをひらいて、けんさくしたいことのキーワードを入力することができる。	キーワードをいれてけんさくしよ、ひつようなじようほうを入力することができる。	だれが持っているサイトかをいしよ、ひつようなじようほうをさがすことができる。	見つけたサイトがしんようか考えられることができる。また、ほかのサイトもくわいて、おれいもいったりはたんだんすることができる。



はっぴようの名入

わざ	☆☆	☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆☆
ほうくする	ノートなどに書いたことを読むことができる。	ときどき相手を見ながら、聞き取りやすい声の大きさで話すことができる。	聞き取りやすいほやさで話すことができる。	ノートなどを見ずに、相手を見ながら話すことができる。
グループディスカッションや話し合い	自分の意見を言うことができる。	相手に話をふかめる質問をすることができる。	相手に話をふかめる質問をすることができる。	友だちの意見をふまえた自分の意見を言うことができる。
プレゼンテーション	ノートなどに書いたことを読むことができる。	ときどき相手を見ながら、聞き取りやすい声の大きさで話すことができる。聞き取りやすいほやさで話すことができる。	ノートなどを見ずに、相手を見ながら話すことができる。	大げつなことをゆびさしたり、くりかえしゆつたりして強ちようすることができる。
クラスルームやミラシード	クラスルームやミラシードをひらくことができる。	ていしゆつふつが出せる。	自分でつくったファイルやカードを先生にたいしゆつしたり、みんなに見えようしにすることができる。	1人でたいしゆつふつが出せる。



### ③主体的に見通しをもって取り組むICT活用 - 「使う力」と「まとめる力」 -

#### ICT操作スキルの育成

・きのくにICTを参考に  
簡易版「ICTスキル表」を作成



・児童がスキル達成度を  
確認・チェック



・メダル・認定書を授与



#### まとめる力をさらに高める工夫

スライド比較



■ 良いところを発表  
メモをして記録  
(良いデザインを学ぶ  
小ステップ指導)

スライド発表



■ クラスでフィードバック  
(思考の言語化)  
(良い所の相互共有)

#### 情報をまとめる力の育成

- 各教科で実践 (主に国語、社会、総合)
- 新聞やポスター・プレゼン資料  
感想文・報告文などの様々な形態
- 見る人の視点や立場を意識した  
見やすい構成やデザイン

#### 成果

- ・ ICTを活用した学習に主体的に取り組む姿  
(授業以外の特別活動内で活用する姿)
- ・ スキル表やメモを見て見通しをもって取り組む
- ・ 4月と比較して「伝える力」が向上

#### 課題

- 情報収集の段階での読み解き方・必要な情報の抽出の仕方・情報の信頼性などを細かいステップで指導
- 1年きりではない持続した指導

